

マイタウン 2012年11月1日号に掲載

整形外科



青木 航洋

関節リウマチ治療の進歩

一般に「関節リウマチ」と聞くと、お年寄りの病気で治らないというイメージが強いようです。しかし、20代の若い人でも発症する病気です。

朝のこわばりや関節の腫れが特徴的ですが、こうした症状が続く場合は要注意です。診断基準が数年前とは変化してきており、早期に診断し治療を開始したほうが進行を抑えられます。

診察で症状を確かめ、最初に血液検査を1回ないし2回程度行い、診断がついた場合は早めに治療を開始します。合併症や副作用

が無いことを確認しつつ、疾患活動性や悪化する危険性が高い場合は、早期から積極的に免疫抑制薬あるいは免疫調節薬の内服や注射を、単剤または組み合わせて使用し進行を抑えます。生物学的製剤という注射も非常に効果があります。

また、内服の免疫抑制薬が今年9月より新登場し、今後の関節リウマチの治療に期待ができます。

整形外科

しんゆり青木整形外科

☎ 969-7577

麻生区万福寺 6-7-2

メディカルモリノビル 2F

<http://www.shinyuri-aoki-seikei.jp>

